

Group C

スレッド型SNS「Tamariba」

2442067 原拓生、2442099 渡辺海斗

GithubURL: <https://github.com/tegrafuse/Saisyukadai>

# 目次

- ペルソナ
- ストーリーボード
- ビジネス要件
- デモビデオ
- アーキテクチャ
- システム構成図

# ペルソナ

- 30代男性
- エンジニア
- 情報収集や情報交換を目的にSNSを利用している。  
いらない情報(広告や興味のない内容)に不満を覚えている。  
誰かの平和な日常を聞きたい。

# ストーリーボード

## シーン1 現状の不満

- 通勤中にSNSタイムラインを眺めるが、広告と炎上や喧嘩に関する投稿が多く、気疲れする
- 疲労感と苛立ちを感じ、集中が途切れる不満が募る
- ミュートやフォロー整理を試すが効果が薄く、問題は解決しない



# ストーリーボード



## シーン2 理想の探求

- 昼休みに同僚と雑談する中で、静かで穏やかな情報空間への憧れが強まっていく。
- 落ち着きを取り戻したい、信頼できる人の穏やかな日常を聞きたいという期待が芽生える。
- ノイズが少なく、共感軸でつながれるサービスを探し始める。

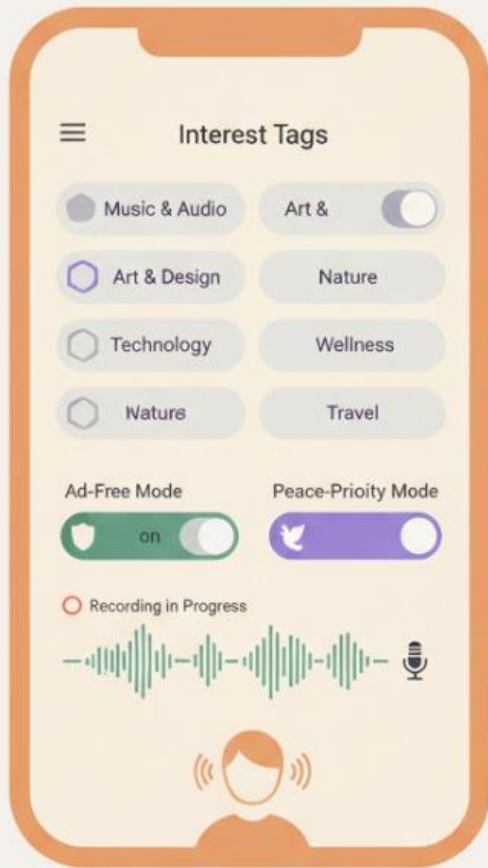
# ストーリーボード

## シーン3 新サービスとの出会い

- 新たなSNSの"穏やかな日常共有"機能の紹介投稿を目にする
- 半信半疑だがコンセプトに共鳴し、静かな交流への興味が湧く
- 紹介リンクからLPへ移動し特徴とコミュニティ方針を確認



# ストーリーボード



## シーン4 実際に使ってみる

- 実際にSNSを開き、いくつかのスレッドを閲覧する
- 操作が直感的で安心感があり、肩の力が抜ける使い心地を実感
- 仕事後の散歩やコーヒースタイル中に、短い日記を気軽に投稿



# ストーリーボード

## シーン5 解決と満足

- タイムラインは静かな日常の断片と役立つ小ネタで満たされ、心地よい情報空間が生まれる
- 心が落ち着き満たされ、情報疲れから解放されて穏やかな気持ちになる
- 気軽にリアクションや感謝コメントを交わし、毎晩の習慣として定着していく



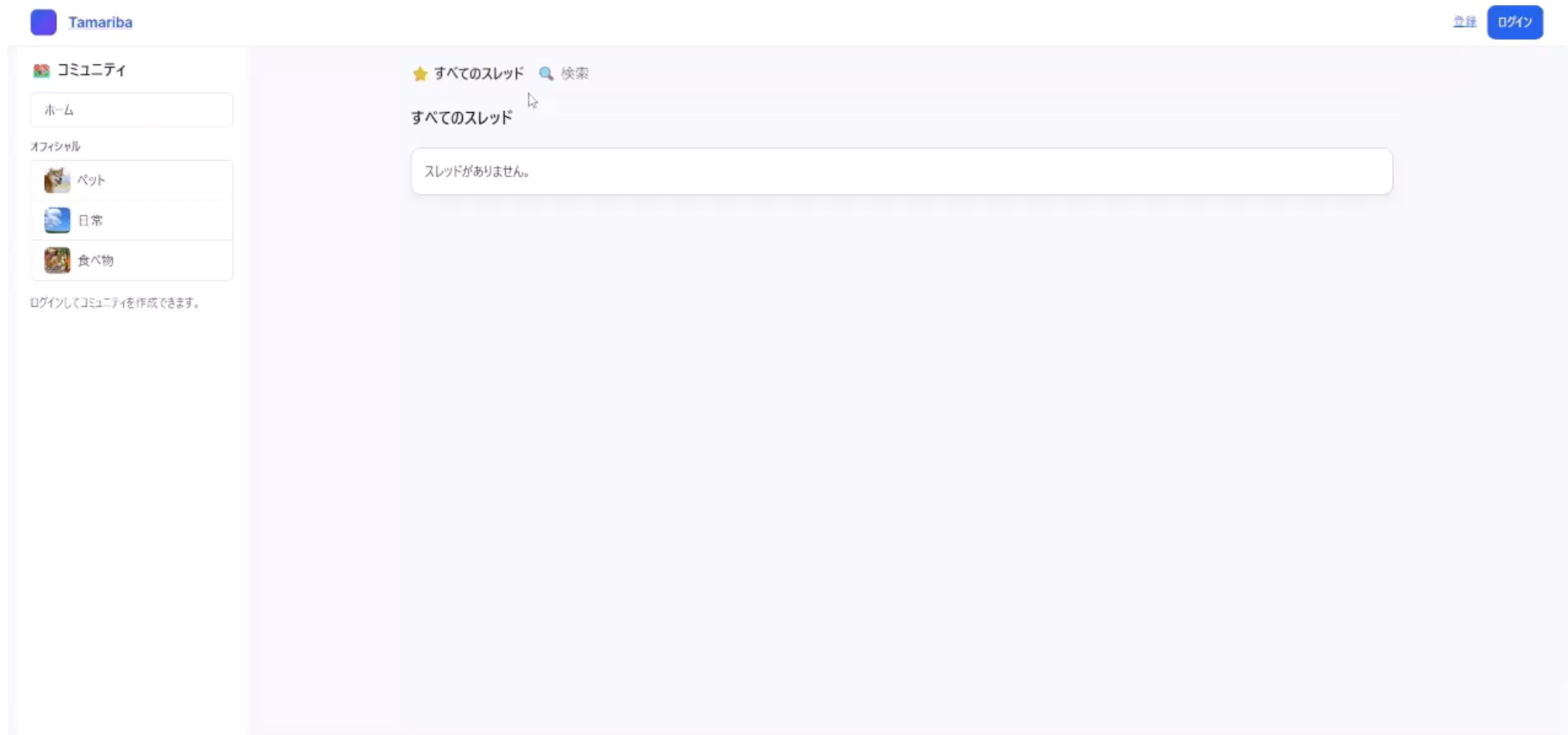
※これらのストーリーボードは「Miro」のAI「Sidekick」を使用して作成した。



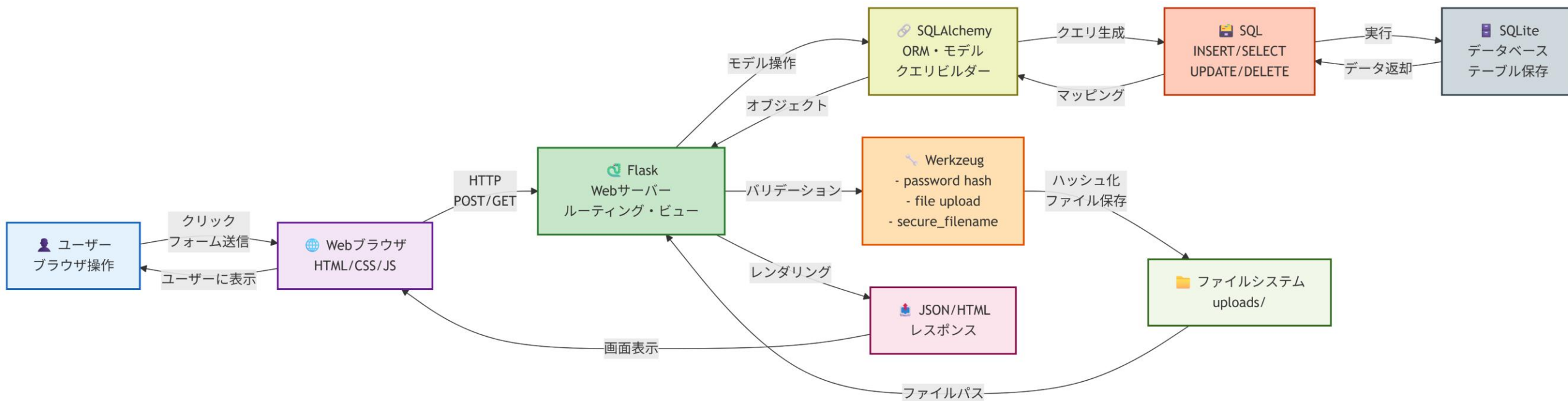
# ビジネス要件

- SNSはスレッド形式とし、コミュニティをフォロー後、それぞれがスレッドを作成、会話をする。
- SNSの利用中に気疲れしない
  - 一つ一つの言動に気を張ることのないよう、過去の投稿の削除機能を設ける
  - 承認欲求を刺激する「バズ」を狙わせず、リポスト機能をなくす

# デモビデオ

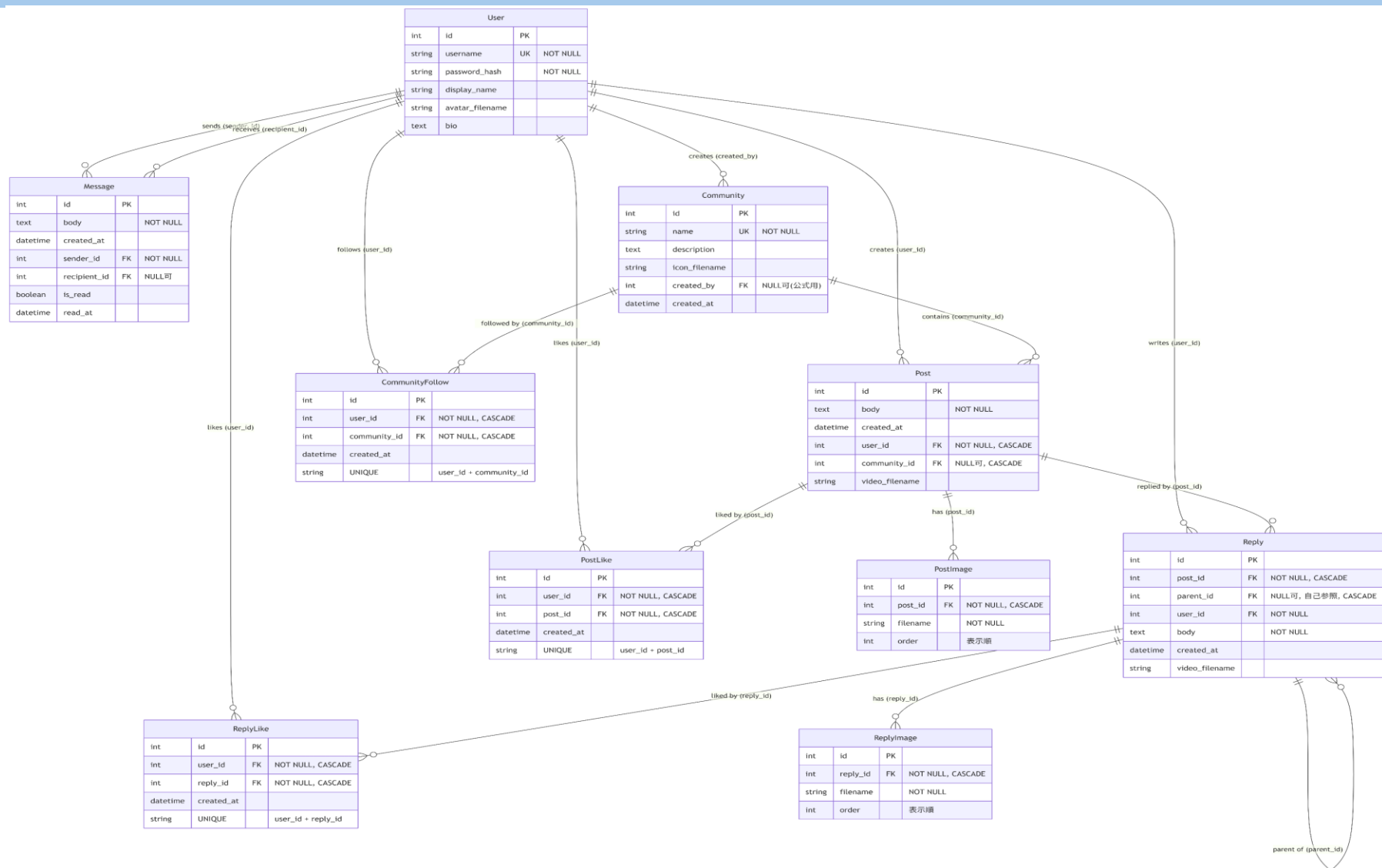


# アーキテクチャ

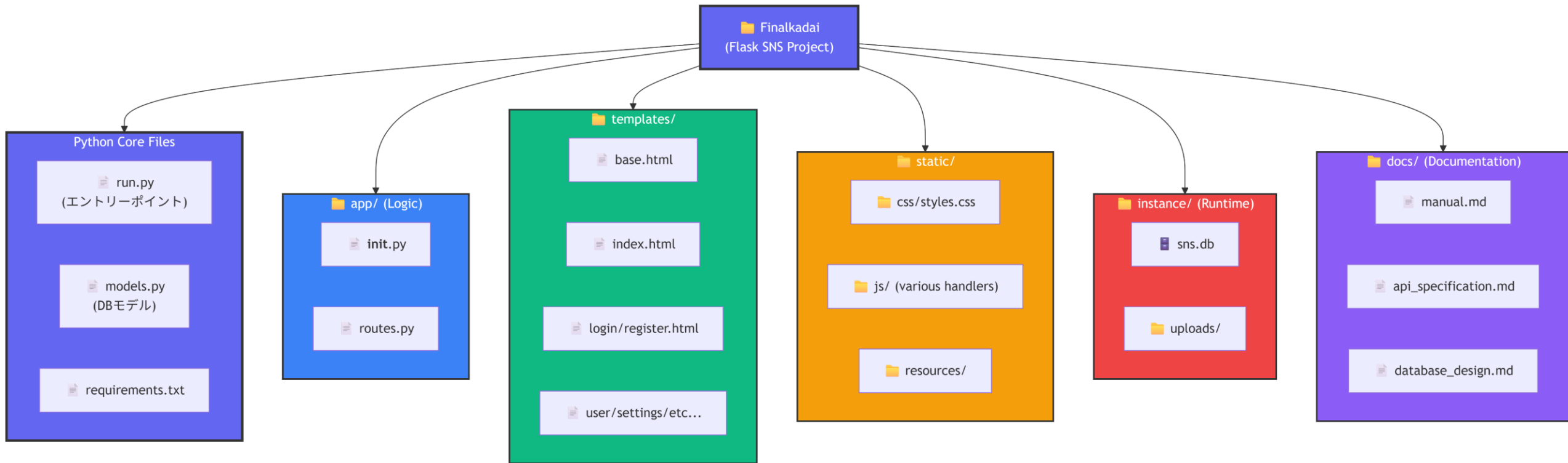


※このプロジェクトはVSCodeのGithub Copilotを使用して作成した。

# システム構成図(ERD)



# システム構成図(全体)



# システム構成図(ファイルアップ)

